授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　座間市立入谷小学校　　　佐渡　靖子

単元名　第４学年　「お気に入りの場所」

実践のポイント（工夫）

・横浜遠足の中で自分のお気に入りの場所や気になったもの、もっと詳しく調べたいと思った事を見つけ、理由を添えながら文章を書く。

・思いがはっきりと伝わるかどうかを読み直し、よりよい表現にする。

・横浜のガイドブックを作ろうという目標をもとに絵や文章構成を工夫し、相手に伝わるようにする。

実践内容

|  |
| --- |
| 　○横浜遠足に行った際に、日本丸や博物館、ランドマークタワーなどお気に入りの場所や気になったもの、興味をもった事を見つけてメモをとる。　1. お気に入りの場所や気になったものなどを見つけ、そこに書いてあるもの、見えるものをメモにとる。
2. それがなぜお気に入りなのか理由もつけてメモをとる。
3. 学校では、お気に入りのもの、気になったものをよりくわしくするために、パンフレットや本、インターネット等で調べ、考えを深める。

　○書いた文章を読み直す。　　・調べたことをもとに文の構成を考えて書く。　　・書いた文章を読み直して、どうしたら自分の思いがはっきりと伝わるかを考える。　○ガイドブックを作る。　　・文章に地図や写真を組み合わせる。　　・自分で絵や文章の配置を構成したり、枠がある台紙を渡したりして、それぞれが自分の思いで工夫して作る。　○ガイドブックを展示する。　　・ガイドブックをクラスでひとまとめにし、児童がいつでも見られるようにする。　　・相手のガイドブックを見て、よさに気づく。 |
|

成果

　・初めに「横浜のガイドブックを作ろう」と提案したことが児童の興味を高めるきっかけとなり、横浜遠足ではどの児童も真剣に見学をし、じっくりと自分の気になるものを見つけることができた。

　・見学場所では、国語の学習だけでなく、社会科との関連した学習にもなり、学びを深めることができた。

　・他の人も見るということを意識してガイドブックを作成することで、丁寧に字や絵を書いている児童が多かった。

　・相手に分かりやすく見やすく、伝えるということを意識していたので、どの児童も文章構成をよく考え、誤字脱字がないように注意することができた。

　・相手のガイドブックを見ることで色々な表現方法があることを知ることができた。

　・気になったものを、公共のガイドブックからただ書き写すのではなく、複数の資料から調べ、まとめ、それを上手に表現できる児童もいた。

課題

　・自分で課題を見つけてまとめることができる児童や、教師からキーワードやポイントの提示を受けた上で取り組むことができる児童など、個人差があった。

　・児童に考えを深めさせるためには、それに関連した資料を、充実させなくてはならないと感じた。

　・ガイドブックを作ったあとに、お互いが見せ合い直接感想を言い合う機会が少なかったので、もっと増やしていきたいと思う。